第26期 第11回法学委員会会議要旨

日時： 令和7年4月16日（水）10:00～12:05

会場： ハイブリッド（日本学術会議5階5-B・オンライン会議システムによる開催）

出席者：大久保規子、小畑郁（幹事）、川嶋四郎（委員長）、島岡まな（副委員長）、島村健、丸谷浩介、三成賢次、南野佳代、山田八千子（幹事）

欠席者：大塚直、越智敏裕、只野雅人

（以上、敬称略・五十音順）

議 題

議題

1 4月15日総会を受けた今後の活動について

第194回日本学術会議総会（令和7年4月15日）において投票により可決された2つの決議（「日本学術会議法案の修正について」および「次世代につなぐ日本学術会議の継続と発展に向けて～政府による日本学術会議法案の国会提出にあたって」）に関して、両決議の実現に向けた活動の必要性とその具体的内容、会員間の意見交換の必要性と条件整備の重要性などについて、意見交換をおこなった。

決議「日本学術会議法案の修正について」の趣旨に適う形の活動を、法学委員会がおこなっていくことが確認された。

2 その他

総会運営等にかかわる課題等について、同総会を受けて、意見交換、総会準備、総会開催、事後対応等の項目について、各部を越える形も含めて会員間で意見交換をおこなう環境を整える必要性、同総会における決議形成のプロセス（総会資料の扱いも含む。）、総会中に動議された修正議案の取扱手続、日本学術会議の諸規則等をめぐる課題が指摘され、意見交換をおこなった。これらの課題等について、今後とりまとめをおこなう必要性が承認された。

<別添資料> なし